



おおこししょうがっこう  
大越小学校

さくら きぎ かこ  
～桜の木々に囲まれて～



おおこししょうがっこう ねん がつ しなひ おぼめ しょうがっこう こし ち  
大越小学校は、1971年4月、市内で21番目の小学校として「おっ越」の地につくられました。このあたりは、市のちようど ちゆうしんち とうじ ねんせい ねんせい じどうすう にん せんせい  
事務員21人でスタートしました。

ねん かんせい ねん じどうすう にん こ すう  
75年にはプールが完成し、79年には児童数が1200人を超えました。クラス数は29クラスとなり、  
こうしゃ おお  
校舎も大きくなりました。

いま こうしゃ たいしんこうじ お じどうすう にん がつ そうせい にん  
今では校舎の耐震工事も終え、児童数は680人ほどです。この3月までに、総勢5182人が  
おおこししょうがっこう そつぎょう  
大越小学校を卒業しました。



がっこう なまえ ふきん ちぬい こし こし し  
学校の 名前は、 付近の 地名「おっ越」から「越」の 字をとり、  
おお はってん い み たい し うえ  
「大きく 発展する」という 意味をこめて「大」という 字を 上に  
かさ おおこししょうがっこう  
重ね、「大越小学校」となったんだよ！

## きれいな <sup>さくら</sup>桜がいっぱい！

おおこししょう さくら き とく こうもんまえ さくら みこと まいとし はる とき  
大越小には、たくさんの 桜の 木があります。特に 校門前の 桜のトンネルは 見事で、毎年 春のひと時  
を、 <sup>うつく</sup>美しい <sup>いろ</sup>ピンク 色でいろどっています。



たくさんの <sup>もつぎょうせい</sup>卒業生  
が、この <sup>さくら</sup>桜のトンネルをくぐりぬけてきた  
のね。



さくらふぶき はな  
桜吹雪が 花びらのシャ  
ワーみたいに 校庭に 降  
りそそいで、とてもきれい  
なんだよ。



おおこししょう さくら き しきおりおり うつく はな さ  
大越小には、桜のほかにもたくさんの木があり、四季折々に美しい花を咲かせています。

ツツジ



4～5月

キンケイ



5月



ツバキ



2~4<sup>がつ</sup>月

ナツミカン



5<sup>がつ</sup>月 (実がなるのは4~6<sup>がつ</sup>月)

コブシ



3~5<sup>がつ</sup>月

バラ



5<sup>がつ</sup>月

モチノキ



4<sup>がつ</sup>月 (実がなるのは10~3<sup>がつ</sup>月)

ウツギ

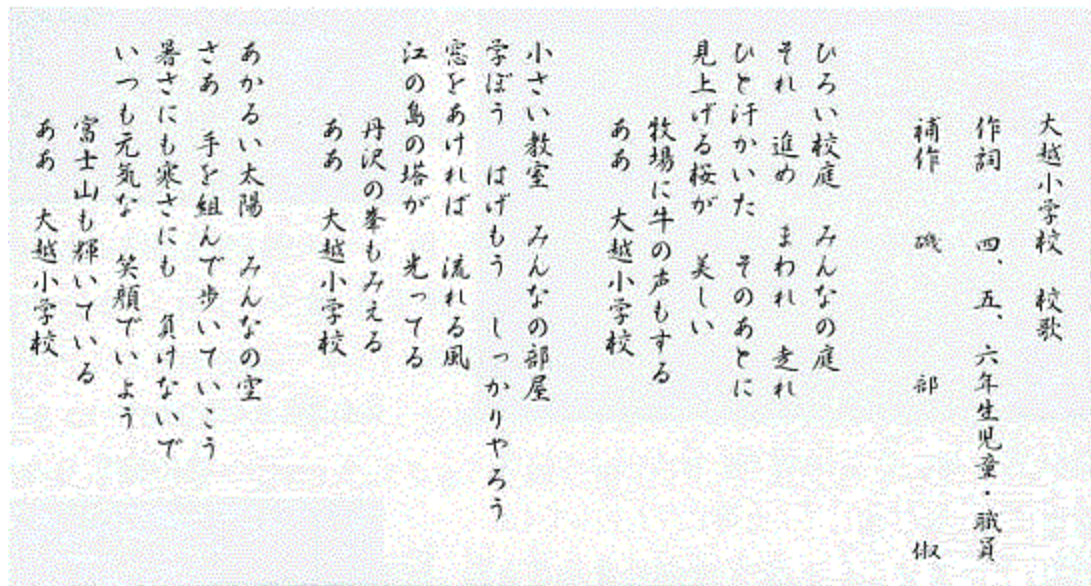


5~7<sup>がつ</sup>月

みんなの <sup>がっこう</sup>学校にはどんな <sup>はな</sup>花があるかな？



むかし じょうけい こうか  
昔の 情景がしのばれる 校歌



いま ねんまえ がっこう ねん つきひ こうか とうじ  
今から30年前、学校ができてから8年の月日がたちましたが、まだ校歌はありませんでした。当時  
こうちよう おんがく たんどう てらだせんせい ゆうめい がっしょう せんもんか いそべとし こうか つく  
校長で音楽の担当もしていた寺田先生が、有名な合唱の専門家である磯部徹さんに「校歌を作ってく  
ださい」とお願いしてできあがりました。いそべ せんせい ちよくせつ あ はなし き  
磯部さんは、子どもたちや先生に直接会って話を聞いたり、  
こうがくねん じどう か がっこう き い さんこう こうか かんせい  
高学年の児童が書いた学校の気に入っているところのメモを参考にしながら、校歌を完成させたそうで  
す。



いそべとし  
磯部徹さん

いそべ とうじ くげぬま す  
磯部さんは当時 鶴沼に住んでいた  
せんぎょうしょうがっこう こうようしょうがっこう  
の。善行小学校、鶴洋小学校、  
だいでうしょうがっこう しらはまようこがっこう こうか  
大道小学校、白浜養護学校の校歌  
も作ったのよ♪



ねん がつ にち ねん がつ にち  
(1917年7月24日～98年11月25日)



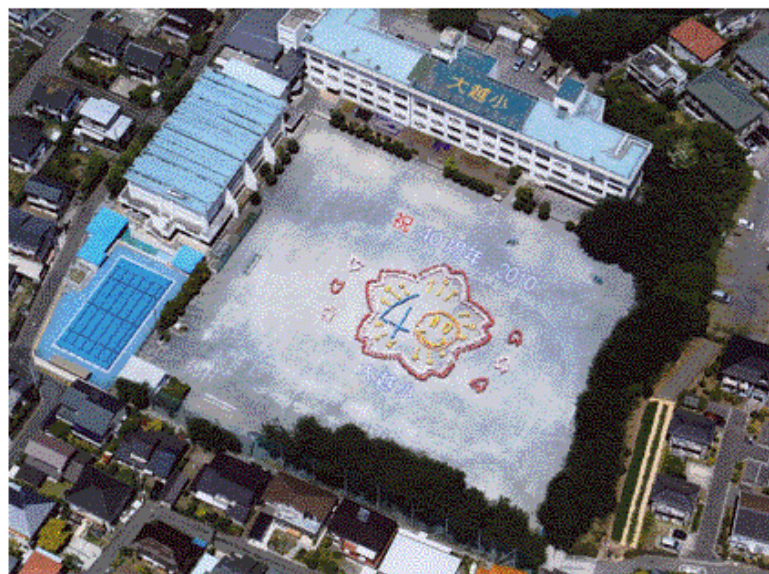
1 番の歌詞には「見上げる桜が美しい」とあり、大越小じまんの桜の木が当時から変わらず咲いていたことがうかがえます。また、「牧場に牛の声もする」とありますが、学校ができたころは、周りに4つも牧場があったそうです。ほかに、2 番には「江の島の塔が光ってる」、3 番には「富士山も輝いている」とあるように、磯部さんは、子どもたちの心に残るさまざまな情景を、校歌の歌詞に取り入れました。

当時は、牛の声だけじゃなく、  
くにおいも学校に届いていたんだって！

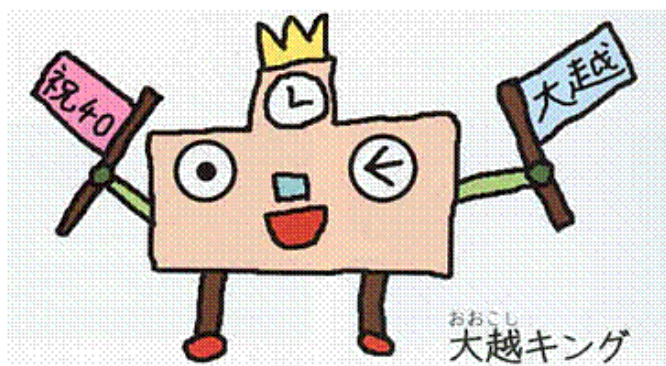


## 大越キング 登場！

大越小は、2011 年に40 周年をむかえました。



6月1日には大越小40歳のお誕生会を開き、マスコットキャラクター「  
大越キング」がお披露目されました。40周年を記念し募集されたキャラクター  
で、応募総数91通の中から、当時5年生の男の子の作品が選ばれました。



## 日大の 学生との 交流

毎年、1年生の各クラスに3~4人ずつ日本大学生物資源科学部の学生が訪  
れ、交流を行っています。

毎年4回、  
学区の近くにある谷戸を探検し、  
自然とふれあいます。







にちたい にい  
日大のお兄さ

ん、お姉さんたちの

たす か  
助けを借りながら、

もり なか  
森の中の

しゅんかきしゅうとう み  
春夏秋冬を見つけ

ある  
て歩きます。

がつ かんばつざい き おお せいちょう き よぶん ぶぶん つか  
12月には間伐材(木を大きく成長させるために切る余分な部分のこと)を使っ  
た置物作りも行います。一緒に遊んだり給食を食べたりして、楽しいひとときを  
おきもの づく おこな いっしょ あそ きゅうしょく た たの  
過ごします。



5 回とも 同じ 学生が 来てくれるため、とても 仲良くなる ことができます。日大の 学生  
も 大越小の 子どもたちも、お 互いに 多くのものを 体得することができ、大変 貴重な  
学びの 機会となっています。



大越小の 子たちは、自然に 親しみながら 学校生活を 送っているのね！  
みんなの 周りにも、まだまだ 四季折々の 自然が 残っているのではないか  
しら。みんなも、春を 探しに 出かけてみてははいかが？

